

※ 今週のアウトルック(9/12~9/16)

先週は各通貨ペアとも、大きく円安が進みました。  
火曜日に各通貨ペアとも、このところのレジスタンスをブレイクすると一気に円安が進みました。その後は膠着状態が続き、金曜日にはやや戻してそのまま週末を迎えています。

今週は、火曜日に発表される米国CPIにやや過敏に反応するかもしれません。その後も経済指標の発表には注意が必要です。

先週のドル円は、水曜日には145円目前の144.99円までドル高が進みました。想定したより速いペースのように思います。

今週はCPIなどの発表が気になる所ですが、経済指標の結果をもとに右往左往する日々が続きそうです。

市場センチメント次第では、次のターゲット150円に向かうこともありそうです。

ドル円の予想レンジは140円から150円です。

先週のユーロはユーロドルがなんとかパリティ付近で留まっているためユーロ円もドル円の上昇に合わせて、145円付近まで上昇しました。

今週は、このままユーロドルが安定すれば、145円をブレイクする可能性が高まりそうです。

ただ、ECBの動きやユーロ圏の経済指標の発表には注意したほうが良さそうです。

ユーロ円の予想レンジは140円から150円です。

ポンド円も上昇していますが、ポンドドルの下落継続が気になります。英国も物価上昇が激しくなっているのは確かなのですが、BOEの利上げペースが追い付いていないという市場判断になっているようです。

ポンド円の予想レンジは160円から170円です。

再びどこまで円安が進むかが話題となっていますが、米国やEUの物価上昇が沈静化しつつあることを示唆するような経済指標の発表には、十分な注意が必要です。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。